

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成28年1月13日

協議会名: 阿賀野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(700)	阿賀野市役所～前山～京和荘	利用者要望によるダイヤ改正及び広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均2.5人に対し、1.2人で目標を達成できなかった。通勤通学者数の変動が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。特に、通勤・通学者の利便性を高めるため鉄道への乗り換えに配慮する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(701)	阿賀野市役所～前山～京和荘	利用者要望によるダイヤ改正及び広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均0.9人に対し、0.8人で目標を達成できなかったが、減少数はわずかである。	目標を達成できなかったが、減少はわずかであり、今後も利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(702)	阿賀野市役所～前山～京和荘	利用者要望によるダイヤ改正及び広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均3.8人に対し、3.5人で目標を達成できなかった。通院・買い物利用者の減少が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(703)	阿賀野市役所～前山～京和荘	利用者要望によるダイヤ改正及び広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均5.9人に対し、5.8人で目標を達成できなかったが、減少数はわずかである。	目標を達成できなかったが、減少はわずかであり、今後も利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(704)(705)	阿賀野市役所～前山～京和荘	ダイヤ改正により、速達性の向上を図った。また、広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均0.8人に対し、0.5人で目標を達成できなかった。通院・買い物利用者の減少が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(902)	笹神支所～熊堂～阿賀野市役所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	A 目標である前年度実績1日平均5.4人に対し、6.2人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(903)	阿賀野市役所～熊堂～笹神支所	利用者要望により経路変更を行った。また、広報誌による啓発活動を行った。	A 計画どおり事業は適切に実施された	C 目標である前年度実績1日平均3.5人に対し、3.4人で目標を達成できなかったが、減少数はわずかである。	目標を達成できなかったが、減少はわずかであり、今後も利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。

事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(904)	神山駅前～中ノ通～阿賀野市役所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均3.8人に対し、4.0人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(906)	笹神支所～中ノ通～阿賀野市役所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均0.9人に対し、0.9人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(901)	阿賀野市役所～中ノ通～笹神支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均2.8人に対し、2.8人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(905)	阿賀野市役所～中ノ通、熊堂～笹神支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	C	目標である前年度実績1日平均1.1人に対し、0.8人で目標を達成できなかった。	利用に係る啓発活動及び適正な運行により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(907)	阿賀野市役所～中ノ通、熊堂～笹神支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	C	目標である前年度実績1日平均5.9人に対し、5.0人で目標を達成できなかった。通院利用者の減、小学生利用者の変動が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適正な運行により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(950)	笹神支所～熊堂、神山駅前、中ノ通～阿賀野市役所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均0.4人に対し、0.6人で目標を達成した。	もともと利用者数の少ない系統であるが、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(951)	阿賀野市役所～中ノ通、神山駅前、熊堂～笹神支所	利用者要望により経路変更を行った。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均1.0人に対し、2.2人で目標を達成した。利用者要望による経路変更が要因と考えられる。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(02AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均14.6人に対し、15.6人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(04AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	C	目標である前年度実績1日平均5.7人に対し、4.8人で目標を達成できなかった。日帰り温泉施設利用者の変動が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適正な運行により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(05AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	C	目標である前年度実績1日平均4.9人に対し、4.6人で目標を達成できなかった。日帰り温泉施設利用者の変動が理由と考えられる。	利用に係る啓発活動及び適正な運行により利用者数の維持に努める。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(22B)(03AB)	横町～安田郵便局前～安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	適正な運行に努めた。また、広報誌による啓発活動を行った。	A	計画どおり事業は適切に実施された	A	目標である前年度実績1日平均4.4人に対し、5.0人で目標を達成した。	今後も、利用者数を維持するため、利用に係る啓発活動及び適切なダイヤ改正に努める。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成28年1月13日

協議会名：	阿賀野市地域公共交通協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを運行し、公共交通網が市内全域に広がっている。</p> <p>阿賀野市で運行する市営バスは、朝夕は主に学生に利用され、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心に、市内で唯一の総合病院である水原郷病院への通院や日常の買い物、日帰り入浴施設などに利用され、生活に必要な交通として機能している。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしている。</p> <p>しかしながら、平成16年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成21年度から人口減少と自家用車の普及により、利用者が減少し始め、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。また、鉄道や民営路線バスを利用できない交通空白地もあり、交通手段を持たない住民が日常生活を送る上で不便を強いられている状況にある。</p> <p>そのような状況の中で、当市においては、平成20年度から地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して、阿賀野市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成22・23年度に前山線、神山線、安田地域循環線の試験運行を実施し、平成23年度から地域公共交通確保維持事業を活用し、市営バスの運行を実施している。</p> <p>この市営バスの運行は、交通手段が確保されない地区において、公共交通を確保することができるとともに、地域間交通ネットワークにアクセスしているため、交通不便地区の住民が日常生活を送る上で、重要な運行となっているので、今後も同路線を確保・維持して行く必要がある。</p>